

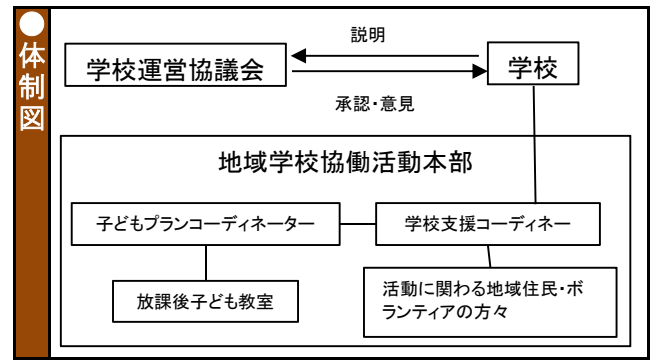
こんな活動です

町全体が学びのフィールド！ 町民みんなが子供達の応援団！

山形県西川町	●活動名	●関係する学校名
	西川町地域学校協働本部	西川町立西川小学校

協働活動開始年度	平成 24 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	10 学級	のべ児童・生徒数	209 人
活動区分	学校支援活動	—		—		—	
	—	放課後子供教室		—		—	
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数		配置人数			
	—	—		5人			
学校運営協議会	指定・設置日	ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	無		
	平成28年5月1日設置	—	25人	—	—		
参考URL	—						

●連絡先 西川町教育委員会 学校教育課 ☎ 0237-74-2114



●活動の概要・経緯

平成24年4月1日、町内5つの小学校を統合した西川町立西川小学校が開校し、町内唯一の小学校となった。もともと、学校の教育活動には大変熱心で協力的な土地柄であり、地域の子供たちは地域で育てるという意識が住民たちに強かった。そこで、地域の方が総合的な学習や、地域での学習の支援を包括的に行っていくことを目的に地域学校協働活動運営委員会が組織された。平成28年度第2回学校運営協議会では、「地域と繋がって生きる人を9年間で育む学校とは」のテーマで熟議を行い、学校として地域として何ができるのかについて話し合われた。それを受けて、学校と地域が共催で実施する「ふるさと楽行」が行われて、今年度で2年目となる。他に放課後子ども教室も実施し、子供たちの様々な体験活動を計画的に行っている。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

小学校全校児童が各学年毎に分かれて、西川町内各所に赴き、自然体験や施設見学、歴史探索等の活動「ふるさと楽行」を行っている。少子化が進み、かつて小学校があった地域でも子供は0～数人がいる程度である。そこへ訪問することにより、子供たちは地域の「宝」を発見し、地域の大人は自分たちの地区の良さを見直すきっかけとなればという願いが込められている。この活動は平成28年度の学校運営協議会で「地域と繋がって生きる人を9年間で育む学校とは」のテーマで熟議が行われたことがもとになっている。熟議で話し合われた内容に基づいて行う活動のうち、教育課程内で出来ないものについては、コーディネーター同士が連携を取り、放課後子ども教室において実施され、学校支援活動と放課後子ども教室が一体となった活動が行われている。

【実施に当たっての工夫】

学校支援コーディネーターと放課後子ども教室それぞれにコーディネーターを配置している。「ふるさと楽行」は、学校支援コーディネーターが町内各地域に赴き、活動を担当する地域の方と活動の調整を行い、学校の計画に応じて幅広い地域住民を活動に参画させている。さらには、コーディネーターとの調整の後、各地区における活動の準備については、地域の指導担当者等がその任に当たり、学校と地域がそれぞれ責任を分かち合って活動を展開している。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- 各小学校が開校する前は、それぞれの学区内での活動が中心で、学区外の自然に触れたり施設に入ったりする機会はあまりなかったが、現在は6年かけて西川町全体をめぐることができている。
- 「ふるさと楽行」で各地域の方々に協力していただいているが、その方々にとってもやりがいをもてるようになってきている。各地域での評判も良い。

● その他

学校支援コーディネーターは、「ふるさと楽行」以外にも、地域が関わる教育活動の際には、地域との調整役を担っている。



に地域の方から地元の歴史など



里二泊三日のキャンプで旧六み